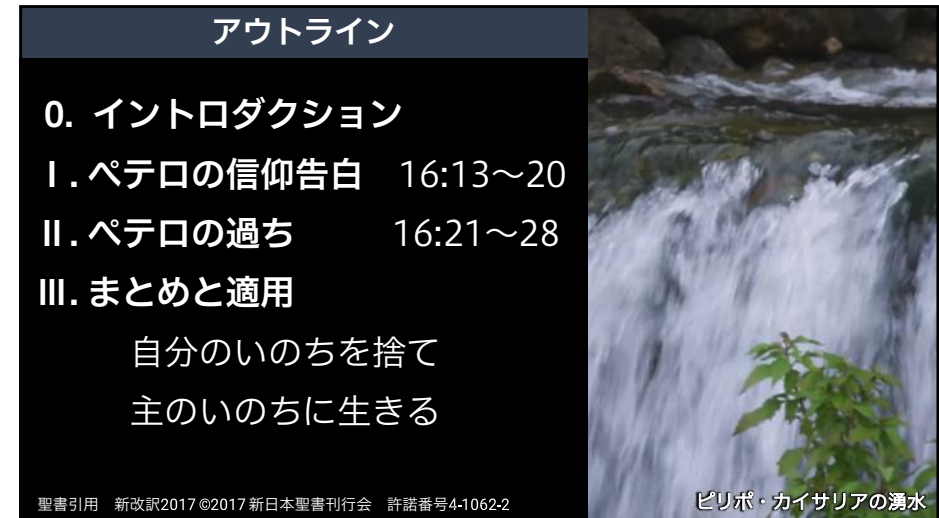




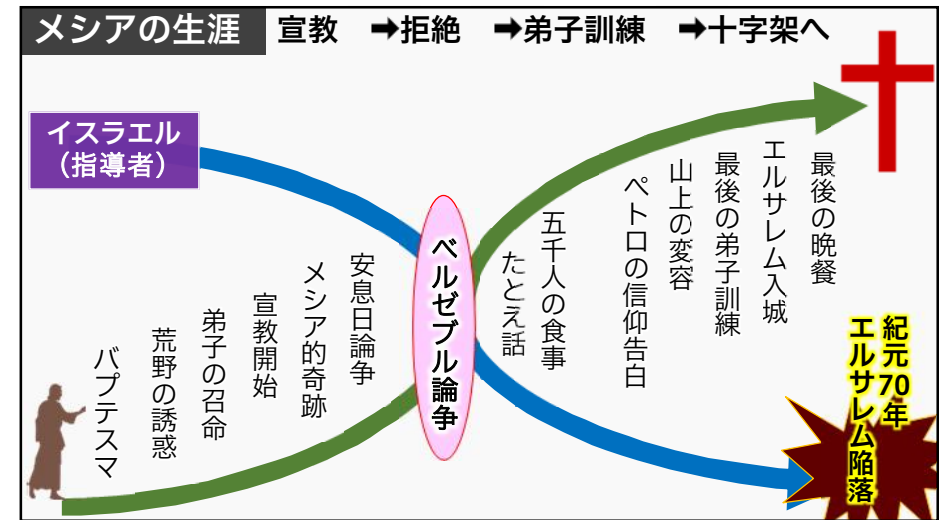
9



10



11



12

メシアの活動は、弟子訓練に移行!!

- 主イエスは、**教会**の礎を築き始められている
→ 訓練された使徒たちが、**教会**の土台に!!
- 教えと奇跡も、弟子たちの訓練のために実行。
→ 弟子たちだけに解説される、**たとえ話**
→ 弟子たちの前で実行される、**奇跡**
- 命を狙われ、イエスは各地を巡りつつ教えられた。
→ **弟子訓練もいよいよ終盤に!!**

13



14

本編 **ピリポ・カイザリアで** マタイ16:13a
さて、ピリポ・カイザリア*の地方に行かれたとき、

*現在の呼び名は、パニアス(アラビア語)
パネイオン(ギリシャ神のパン神の聖所)
パン神…山羊の半身半獣の神
性的シンボルにも
後に悪魔の象徴に

ピリポの領地。北部のローマ風の都市。
ヘロデ大王が、皇帝アウグストゥスから贈与、
神殿を建設。子の領主ピリポが自分の名を付す。



15



16

本編 イエスの質問 マタイ16:13b

イエスは弟子たちに「人々は**人の子***をだれだと言っていますか」とお尋ねになった。

*“人となられた神の子” …メシアの呼称

→メシアの人性を強調、初臨の受難のメシア

「詩80:17 **あなたの右にいる人の上に御手が
ご自分のため強くされた人の子の上に御手が
ありますように。」**



パニアス付近の街道

17

本編 人々の主張 マタイ16:14

彼らは言った。「**バプテスマのヨハネ***だと言う人たちも、**エリヤ***だと言う人たちもいます。またほかの人たちは**エレミヤ***だとか、預言者の一人だとか言っています。」

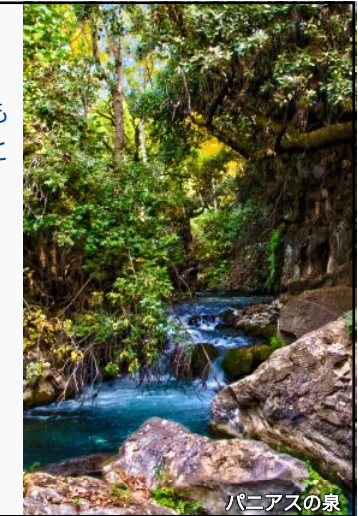
■メシアに関連しているが、みなハズレ。

*メシアの先駆者

*生きて天に挙げられた

→メシアの先駆者

*厳しく迫害された、涙の預言者



パニアスの泉

18

本編 イエスの問い 16:15~16

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」

シモン・ペテロが答えた。「あなたは**生ける神***の子キリストです。」

*反対は、死んだ偶像の神

■イスラエルの生ける神 申 5:26

「いったい肉なる者で、私たちのように、火の中から語られる**生ける神**の声を聞いて、なお生きている者があったでしょうか」



パニアスの泉

19

本編 イエスの問い 16:16

「あなたは生ける神の子***キリスト***です」

*“〇〇の子” …〇〇の性質

「雷の子」 …雷のような激しい性質

唯一の神と同じ性質 “神の子=神”

*メシア(ヘブル語) …主に油注がれた者、
救い主、王

**イエスは、イスラエルの生ける神主に
油注がれたメシアである**



偶像の町での告白

パニアスの遺跡

20

本編 主による告白 マタイ16:17

すると、イエスは彼に答えられた。
「バルヨナ*・シモン、あなたは幸いです。
このことをあなたに明らかにしたのは血肉で
はなく、天におられるわたしの父です」

*“ヨナの息子”“ヨナ＝鳩” …信仰の忠実さ
…父の名、正式名称でペテロと呼ばれた
■告白は、父なる神が導き出されたこと。
ペテロの手柄ではないと明言されたが…。



パニアスの湧水路

21

本編 岩の上の主の教会 16:18a

そこで*、わたしもあなたに言います。
あなたはペテロ*です。わたしはこの岩*
の上に、**わたしの教会**を建てます。

*ペテロの手柄ではないと明示の上で

*“小さな岩”

*“大きな岩・岩盤”

=主が引き出された信仰告白

**主は、正しい信仰告白の上に
主の教会を建てられる**



パニアスの岩壁

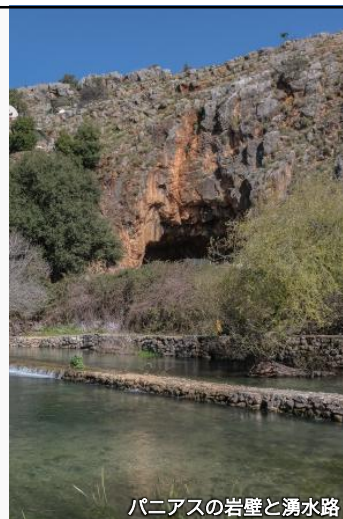
22

本編 岩の上の主の教会 16:18b

わたしはこの岩*上に、**わたしの教会**を建
てます。よみの門*もそれに打ち勝つこと
はできません。

*“門”は、“裁きの場”

…どんなに深い闇の勢力も、教会(真の
信者)を有罪として裁くことは不可能。



パニアスの岩壁と湧水路

23

本編 天の御国の鍵 マタイ16:19

「わたしはあなたに**天の御国の鍵***を与え
ます。あなたが地上で**つなぐ***ことは天
においてもつなぐ、あなたが地上で解
く*ことは天においても解かれます。」

*“主イエスの福音” …21節で早速示す

→イスラエル、サマリア、異邦人へ

*拘束・捕縛 …有罪判決

*解放 …無罪判決

■使徒たちによって伝えられた福音を
信じるか拒むかで、永遠の運命が決定。



パニアスの湧水路

**ペテロはあくまで器
主権者ではない**

24

本編 禁じられた告白 16:20

そのときイエスは弟子たちに、ご自分がキリストであることをだれにも言ってはならない*、と命じられた。

■イスラエルは、公式にメシアを拒絶。

→イエスを信頼する者だけに真実が!!

かたくなにされた者に、
真理の御言葉は届かない



パニアスの遺跡の湧水路

25

**Ⅱ. ペテロの過ち**

マタイ福音書16:21～28

26

本編 示された福音 マタイ16:21

そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらなければならない*ことを、弟子たちに示し始められた。

*メシアの十字架の死と復活の福音

■救いの真髄である福音が、始めて開示。

→福音こそ、信じる者を滅びから救う、
使徒に託された、天の御国の鍵(19節)



パニアスの遺跡

27

本編 ペテロの傲慢 マタイ16:22

すると、ペテロはイエスをわきにお連れして、いさめ始めた*。「主よ、とんでもないことです*。そんなことがあなたに起こるはずがありません。」

*“叱りつける、厳命、警告”

→メシアに対して完全に上から目線

*“主があなたを憐れまれるように”

■ペテロは、メシアの福音を拒絶!!

メシアを叱りつける傲慢の極みに!!



パニアス

28

本編 イエスの叱責 マタイ16:23

しかし、イエスは振り向いてペテロに言われた。「**下がれ、サタン***。あなたは、**わたしをつまずかせる*ものだ**。あなたは神のことを思わないで、**人のこと***を思っている」

*これ以上に厳しい叱責はない。

*メシアに罪を犯させる →サタンの誘惑

「マタイ18:7 つまずきが起こるのは避けられませんが、つまずきをもたらす者はわざわいです。」

*主の計画の成就ではない、人の願望



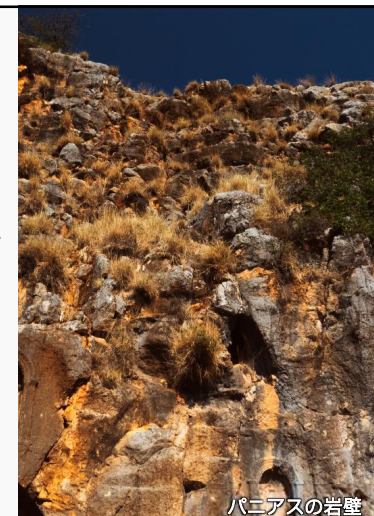
29

本編 弟子の覚悟 マタイ16:24～25

それからイエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、**自分を捨て**、自分の十字架を負って、わたしに従って来なさい。

自分のいのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのために**いのちを失う**者はそれを見出すのです。」

弟子にも求められる十字架の覚悟



30

本編 世にあるいのち マタイ16:26

人は、たとえ全世界を手に入れても、自分のいのちを失ったら何の益があるでしょうか。そのいのちを買い戻すのに、人は何を差し出せばよいのでしょうか。

■地上の肉体に伴う「いのち」は…、

→死んだら、地上の富はすべて失う。

→命を買い戻すことなどできない。

主が突きつける、命の現実!!



31

本編 裁き主イエス マタイ16:27

人の子は、やがて父の栄光を帯びて御使いたちとともに来ます。そしてそのときには、それぞれその行いに応じて報います。

■主イエスは、裁き主・王として再臨。

→拒絶する者には、永遠の滅び

→信じる者には、永遠の命

主はそれぞれの信仰に報いを与える

初臨の十字架の死と復活 再臨までが告げられた!!



32

本編 栄光の主 マタイ16:28

まことに、あなたがたに言います。ここに立っている人たちの中には、**人の子が御国とともに来るのを見るまで、決して死を味わわない***人たちがいます。」

＊湾曲的な言い方

→栄光のイエスを見る弟子がいる

■その内実は、次章で明らかに!!

→ヘルモン山頂での栄光の主の顕現



パニアス近郊

33



Ⅲ. まとめと適用 自分のいのちを捨て 主のいのちに生きる

パニアスの岩壁と湧水

34

ペテロの信仰告白

「あなたは生ける神の子キリストです」

■イエスは…

①**生ける神** …イスラエルの生ける神＝唯一の創造主

②**神の子** …唯一の神と同質

③**キリスト** …主が油注がれた王・救い主

まず求められたのは、イエスをメシアとして信じること

35

続いて明らかにされた 「福音」

「そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから**多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらなければならないこと**を、弟子たちに示し始められた。マタイ16:21」

■イエスを神の子メシアとして信じた弟子たちは、十字架で死んで復活されるメシアを信じる信仰へ。

教会時代に信じるべき 「福音」が明らかに!!

36

ペテロの過ちの本質

- 主イエスの**福音**(十字架の死と復活)を拒んだ。
→「そんなことがあってはなりません」 メシアを叱責
- サタンは、**福音**を妨害。
→十字架を経ないで王にしてやろう(荒野の誘惑:4章)
- 「さがれサタン」 = ペテロはサタン同様、**福音**を妨害
→固執したのは、神の計画ではなく、人の願望・欲望

37

警告されていた、ペテロの過ち

- 「このことをあなたに明らかにしたのは血肉ではなく、天におられるわたしの父です。」
→牽制されていた、歴史的信仰告白を自分の手柄にする傲慢!!
- 「わたしはあなたに天の御国の鍵を与えます。」
→自分の手に、神の権威を握ったかのように誤解?!
- 「**自分のいのち**を救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。」

ペテロが捕らわれているのは、自分。自分のいのち

38

罪の本質が、「自分のいのち」

「ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、**自分のいのち**のことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではありませんか。マタ6:25」

「**自分のいのち**を救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者はそれを見出すのです。マタ16:25」

自分のいのちに捕らわれるのが 滅びの道

39

「自分」という罪の源流

- 人が自分で御言葉の是非を判断するのが、罪の本質 創3:4~5
すると、蛇は女に言った。「あなたがたは決して死にません。それを食べるそのとき、目が開かれて、**あなたがたが神のようになって善悪を知る者となる**ことを、神は知っているのです。」
そこで、女が見ると、その木は**食べるのに良さそう**で、目に慕わしく、またその木は**賢くしてくれそう**で好ましかった。
- 主の明確な命令は、「食べるな。食べると死んでしまう。」
主との約束を自分の思いで勝手に判断 → 罪の源流

40

福音の是非を勝手に判断したペテロ

マタ16:22 すると、ペテロはイエスをわきにお連れして、いさめ始めた。「主よ、とんでもないことです。そんなことがあなたに起こるはずがありません。」

- メシアが苦しみを受け、殺されるなど受け入れられない。人間的には当然の感情？ →それがサタン同様の罪

主の約束 主の計画に反するのが 罪

41

明確な 主イエスの命令

「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の**十字架**を負って、わたしに従って来なさい。」

- 主イエスの弟子に求められるのは、**十字架**を負う覚悟。
→世には、つまり、愚かなもの(1コリ1:23)。
→世から、嘲られ、辱められる(ルカ18:32)

自分の十字架を負っているか？

42

自分を十字架につけた者として

「キリスト・イエスにつく者は、**自分の肉を、情欲や欲望とともに十字架につけた**のです。

私たちは、御霊によって生きているのなら、御霊によって進もうではありませんか。

うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたま合ったりないようにしましょう。ガラテヤ5:24~26」

- 十字架を負った私たちは、「**自分のいのち**」を十字架につけた。
私たちは、ただ主に従うために御言葉を学ぶ。
他者にひけらかすための学びは、自分の肉でしかない。

43

御言葉の学びすら、「自分のいのち」のために…

「うぬぼれて、互いに挑み合ったり、ねたま合ったりしないようにしましょう。ガラテヤ5:26」

- 知識の誘惑 …他の信仰者への優越感。他者の評論、評価。
例) ディスペンセーションへの誤解の元
- 学びが学びで終わっているなら、何も学んでいない。
自分の満足、主張のため →「自分のいのち」が優先に!!
過去に属していた教会や指導者への批判を続けているなら？
→あなたも同じ穴のムジナ。悔い改めたらそれでいい。

44

嘲る者 分裂を引き起こす者

「終わりの時には、嘲る者たちが現れて、自分の不敬虔な欲望のままにふるまう。」

この人たちは、分裂を引き起こす、生まれつきのままの人間で、御霊を持っていません。ユダ1:18～19

■ 嘲り、他の信仰者への非難には要注意!!

例) 過剰に持ち上げ、手のひら返して非難。→ 自分中心
いつまでも過去に属していた教会や指導者を非難…。

→ あなたも同じ穴のムジナ。悔い改めたらそれでいい

45

国籍が天にある者として

「…私はたびたびあなたがたに言ってきたし、今も涙ながらに言うのですが、多くの人がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。」

その人たちの最後は滅びです。彼らは欲望を神とし、恥ずべきものを栄光として、地上のことだけを考える者たちです。

しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

ピリピ3:18～20」

自分の十字架を負って主に従う者は、神の国の永遠の民

46

十字架の主イエスに招かれて① | ペテロ2:20～25

罪を犯して打ちたたかれ、それを耐え忍んでも、何の誉れになるでしょう。

しかし、善を行って苦しみを受け、それを耐え忍ぶなら、それは神の御前に喜ばれることです。

このためにこそ、あなたがたは召されました。キリストも、あなたがたのために苦しみを受け、その足跡に従うようにと、あなたがたに模範を残された。

47

十字架の主イエスに招かれて② | ペテロ2:20～25

キリストは罪を犯したことがなく、その口には欺きもなかった。

ののしられても、ののしり返さず、苦しめられても、脅すことをせず、正しくさばかれる方にお任せになった。

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

あなたがたは羊のようにさまよっていた。しかし今や、自分のたましいの牧者であり監督者である方のもとに帰った。

48

★ 自分のいのちを捨て、主のいのちに生きる ★

■ 私たちが、聖書を学ぶのは、
自分の命を捨て、自分の十字架を負って生きるため。
自分自身の罪に向き合うなら、悔い改めを促される。

■ 嘲り、苦難が、主に従い通した結果ならば、幸いだ。
自分のいのちを手放し、主のいのちに生きていこう。
打ち砕かれた身が、御霊で満たされていくように。

十字架で死なれ、復活された主イエスが共におられる

49

てん とう わたし つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください。
わたし かみ こ しゅ
私たちは、神のみ子、主イエス・キリストが、
わたし つみ あがな じゅうじか し
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、
はか ほうむ
②墓に葬られ、
みっかめ ふっかつ しん
③三日目に復活されたこと、を信じます。
わたし じぶん す じぶん じゅうじか お しゅ したが
私たちは、自分を捨て、自分の十字架を負い、主に従います。
えいこう しゅ ふたた こ とき ま のぞ よ つか
栄光の主が再び来られる時を待ち望みつつ、世に遣わされます。
う くだ み みたま み
打ち砕かれたこの身を、御霊によって満たしてください。
かんしゃ しゅ な いの
感謝して、主イエス・キリストのみ名によって祈ります。アーメン」

50

